

## オ リ ー ス 通 信



わたしはあなたと共にいる。

イザヤ書43章5節  
神愛保育園

## 「3月を迎えて」

3月を迎えました。川べりにある早咲きの桜もつぼみの状態ですが、ニュースによると、これから急に暖くなるようです。開花が待ち遠しいですね。

さて、今年も13名の年長さんが神愛保育園を巣立っていく日が近づいてまいりました。

2月に、深川小学校1年生と年長さんの交流会がありました。体育館に入ると緊張をしていた子どもたちでしたが、昨年度の卒園児たちが神愛保育園の年長さんを見つけると、お互いに手を振ったり声を掛け合ったりして一気に子どもたちの顔に笑顔が出てきました。この日は、1年生が近隣の保育園の子どもたちと一緒に昔あそびを体験するという場を作ってくれていました。昨年度ひまわり組と一緒に過ごしたこともあってか、卒園児を仲介にして他の園に比べて積極的に小学生の中に入っていった遊んでいた姿がとても印象的でした。4・5歳児と一緒に過ごしたひまわり組の時間が、小学校に入るときに、知り合いがいるということでも少しかもしれませんが心の安心感につながっているようです。

現在、すでにひまわり組は3歳児がクラス移動を行って4歳児と一緒に過ごすことが始まっています。3歳児の子どもたちにとって、クラスの人数が大きくなり、今まで以上にコミュニケーションが難しく、自分たちの思いが伝わらないというもどかしさもあるようです。しかし、自分たちが憧れるお兄さんお姉さんがやっていることがとても興味深く、自分たちもやってみたいという思いが伝わってきます。お昼ごはんに食べるご飯の米とぎを4歳児がやっているのと、数名の3歳児の子どもたちが後をついてきて、興味と関心をもって見ている姿、ちょっと高度な工作をしている4歳児の輪に入って、初めは見ているだけから参加していく姿。やってみたいと思っても、なかなか先輩4歳児には声をかけづらい様子の子も、保育者の仲介で遊び始めるなど、子どもたちに新しい姿が見えてきています。ぜひ、これからの新しいクラスで、小学校へもつながる人間関係を築いてほしいと願っています。

今月は、乳児クラスも新しいお部屋の移動が始まります。乳児クラスの子も少し不安な姿が出てくるかもしれません。その不安に寄り添い、スムーズに進級できる環境づくりを行っていきたいと思います。

最後に保護者の皆様、一年間、様々な面でご協力、ご支援をいただきありがとうございました。

神愛保育園園長 鵜澤由記子





2月、3月は年長さんのリクエストメニューを組み込んでいます!!



・ジャージャー麺

・いもかつ



・納豆ごはん



・鶏肉の西京焼き

・エビフライ



・木の葉うどん

・ドーナッツ



### 現在の食材の提供方法について

(様々な事故事例から、見直しをした内容を報告致します。)

#### 【① 肉 類】

乳児クラス(つくし組~もも組)に対して、1cm以下のみじん切りで提供しています。これは事故による事例を受けて、誤嚥などによって窒息を起こさない為の対応です。クラスと調理室での個人対応が難しいという事や、取り違いや提供間違いを防ぐために、12月から全員分を同じ形態での提供をしています。

#### 【② 果 物】

2月から、りんご・梨のデザートとしての提供をしない事になりました。(おやつでは加熱したもの、コンポートやサラダの細かく切ったものは今後も提供します。)肉と同様に死亡事故の事例から、安全に配慮して提供するにはと検討を重ねて決定しました。

それに準じて、今まで国産や有機栽培にこだわって購入していましたが、近年提供する果物の減少(ぶどうや柿(0才児))や価格高騰により、輸入のキウイフルーツやオレンジ、グレープフルーツなども提供していく事になりました。

ご意見・質問などありましたら、お声掛け下さい



2月はこの時期らしい乾燥した寒さの日もあったり、昼間は春の温もりを感じる日があったり、寒暖差の多い季節となりました。南風が吹く日もあり、季節の変わり目を感じる時期です。また卒園式を控えて、式で歌う歌の練習をする可愛い声が響く保育室です。園では下痢や嘔吐など、お腹の症状でお休みするお子さんがいました。

## 【3月3日は耳の日です】

3月3日というと、一般的には「ひな祭り」ですが、「耳の日(33=みみ)」の日でもあります。ちょっとした不注意が、内耳炎や外耳炎の原因になることもあります。次のポイントに気をつけましょう。

- 耳を爪で引っかいたり、強く引っ張らない。  
(このようなしぐさがお子さんにあったら、耳鼻科受診をしましょう。)
  - 耳あかがたまっていないか、こまめにチェックする
  - 鼻をかむ時は片方ずつ静かにかむ。
  - 耳のそばで、大きな音や声を出さない。
- 耳あかが見えていても取りづらい時は、無理せず耳鼻科を受診してください。**

## 【ノロウイルス感染症】

冬の時期に流行る感染性胃腸炎のひとつです。感染性胃腸炎のウィルスはいくつかありますが、ノロウイルス感染症の特徴は、食中毒でもあり感染症でもある点です。感染力は強く、子どもも大人もかかります。感染性胃腸炎にかかったら、タオルの共有をやめる、おむつはビニール袋に入れて捨てる、こまめに手洗いをするなどご家庭でも感染対策が必要となります。治療は対症療法しかなく、急性期には無理に食事を摂らず、水分補給を優先してください。登園の目安は症状が治まり、食事がとれる状態となります。



## ひだまり

～地域の親子と園児の交流～



寒さの中にも、少しずつ春の暖かい日差しが感じられるようになりましたね。

今年度も園の「夏まつり」「運動会」「神愛まつり」などに参加していろいろなプログラムを楽しむことができました。ひだまりの企画の「園児とあそぼう」「保育園であそぼう」「体験保育」では、保育園入園希望の利用者さんが「園児と一緒に遊べて保育園の楽しそうな様子や、見通しが持てて良かった」などと感想を聞かせてくれました。限られた時間ではありますが園児との交流ができ嬉しく思います。

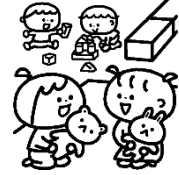
今年も多くの地域の親子との出会いがあり、四月から保育園入園の報告にきてくれました。在園児の保護者の方が、仕事の合間や出勤前に立ち寄ってくださり、ホッと一息ついて近況をお話しし合うのもスタッフのほっこり楽しい時間です。

来年度もたくさんの方と繋がりが持てる『ひだまり』でありたいと思います。

よろしくお願ひいたします。



# ともにそだつ



私たちは、保護者の皆さんと共に子育てをしています。  
園の中での子どもの様子を伝え、子どもの育ちを共に考え、  
喜びを共有したいと願いながら、この保育日誌紹介のコーナーを  
設けています。ともに子どもから学んでいきましょう。

2025年2月6日（木） 天気 くもりのち晴れ もも組（2歳児）

## 楽しいリズム活動

今日は2回目のリズム活動に参加する。森下文化センターに向かっている時から「スキップしたいな」や「トンボするかな」と楽しみにしている子どもたちであった。ホールについてからも前回の準備を覚えていたようで帽子とジャンパーを脱いで座っていた。今回は『ゆきのペンキ屋さん』という歌を歌いながら手や腕を動かして雪やペンキ屋を表現していた。リズム活動の時に初めての歌にならないようにこれからは事前に歌っていきたい。2回目ということもあり、他のクラスがやっているのを真似っこして楽しむ姿も見られた。次回のリズム活動はちゅうりっぷ組に進級してからのため、日々の遊びでもリズムを取り入れていきたいと思う。

今年度も残すところあとひと月となりました。年長さんは小学生に、他のクラスの子どもたちも一つ上のクラスに進級します。この日誌は、リズム活動に参加する日のもも組の日誌です。

幼児クラスでは、講師の先生を招いてのリズム活動があります。もも組は1月からお兄さん、お姉さんたちと一緒にリズム活動に参加します。今回のリズム活動は2回目。朝から前回の活動を思い出し期待に胸を膨らませている様子が可愛いですね。2歳児クラスの子どもたちは、「大きい」「小さい」が比較できるようになり、特に「大きい」には敏感なのです。身の回りのことが自分でできるようになり、生活の様々な場面で「大きくなった」という実感を持たせたのだと思います。

また、身近な生活の中に「これは！」という憧れの対象を見つけると「やりたい」思いが膨らんで「私も」「僕も」とどんどん背伸びをしはじめます。憧れの活動があとちょっとで手の届くところにあります。この先も「やりたい」思い、背伸びする意欲を大切にして、その思いや意欲が心地よい感覚と共に膨らんでいくように、保育者が支え励まし環境を整えていきたいと思います。どんな姿を見せてくれるのか楽しみですね。



## 「自分たちできめてみよう」

子ども達と行きたい公園を決める。意見を募ると4つの公園が出る。「どうやって決める？」の保育者の問いかけに意見が出なかったので、保育者が「多数決、くじ引き、じゃんけん」と思いつくものを上げると、子どもから反応があり、多数決とくじ引きで6対6で分かれた。次に「だれにしようかな」で子どもたちの意見を聞きそれぞれの代表を決め、じゃんけんをする。結果くじ引きで決めることになり、清澄公園になった。何かを決める時に色々な方法があることを知ってもらおうと共に、自分が選んだものにならなかった時に、どう気持ちを切り替えるかも感じて欲しいと思い、時間をかけて行った。清澄に行きたいと言っていた子は少なかったが、実際に公園では思い切り楽しんでいる姿があり、どこになっても気持ち次第で楽しめることが伝わっていたらいいと感じた。

21世紀になってから、保育の世界では「こども主体の保育」に転換することを迫られ、多くの現場で手探りで、そして保育者たちが学びながら現場で実践していくことを繰り返してきました。なぜならば、多くの保育者は、「集団を動かす」ことや「こどもを指導できる」ことがよいことと評価される時代を過ごしてきたからです。しかし、1994年に「こどもの権利条約」を日本も批准したことで、子どもを大人と同じ一市民、「権利の主体」として認めることになりました。そこから、保育現場の保育内容も大きく変わってきたのですが、現場では難しさも体験していました。しかし、子ども家庭庁が設立され子どもの基本的な法律である「こども基本法」も制定されたことで、子どもの幸せを実現するために多くの動きが加速化しています。その中に、子どもの意見の尊重(子どもが意味のある参加ができること)いわゆる子どもの意見表明の権利ということは今まで以上に大切にすることが求められています。それは、各年齢や発達によって違いはありますが、保育の中では、様々なことを子どもたちがきめることを大切にしています。今日の日誌は、お散歩でどこの公園に行くのかということを決める場面です。子どもたちは自分の意見は伝えることはできるのですが、まだまだ皆で良いものを選んでいこうという結果を出すには保育者の助けがいらいます。最終的には、保育者の助けが少なく子どもだけで会議、いわゆる「こども会議」ができるようになればいいなと願い、保育の環境や子どもの声を聞く姿勢を保育者皆で、大事にしていきたいと思いま

育を体験した林との教い世代も多い現場ではありますが、「こども主体の保育」が歩み始めていることをこの日誌から感じました。





## 子ども会報告



神愛保育園では“子ども会”という卒園児の活動があります。夏にはサマースクール（宿泊）、秋には芋ほり遠足、また毎月一回土曜日に「あそび道場」という園にあそびに来てOKな日や、毎週水曜日午後「ほっと・ひだまり」という職員や在園児と一緒に過ごす日など、卒園してからも友だちや職員と交流する機会がたくさんあります。今回は、先日あそび道場で行った“お菓子作り”の様子をご紹介します。

2月1日（土）午後にお菓子作りをしました。この日のメニューは2月のバレンタインにちなんでチョコレート菓子を作りました♪13時になり「こんにちは！」と元気な声でやって来た子どもたち。今回は電子レンジと冷蔵庫を使うために、ひだまり棟へ移動してのクッキングでした。手洗いはエプロンと三角巾を着けてクッキングの始まりです。調理の和田に作り方を教わり、楽しそうにおしゃべりをしながらとてもリラックスした様子で作っていました。3色の好きなチョコレートを選んで、コーンフレーク、マシュマロを好みの量入れて混ぜ、型へ流し込みました。その上からパラパラとカラースプレーをかけてオリジナルのチョコフレークの完成です。コーンフレークやマシュマロを入れすぎて混ぜずらくなり苦戦している子どももいましたが、皆楽しんで作っていました。少し冷蔵庫で冷やし固めてから試食もしました。「あまいね」「美味しい」と自分で作ったチョコフレークを食べながら、お友だちとの会話も弾んでいました。また「きれいにできたのはお父さんへあげるんだ」と言ってきれいに包んでお土産も持って帰りました。この先もみんなで笑い合える関係を大切にしたいです。



それぞれ型にチョコレートを流し込みました。冷蔵庫へ入れるため、お盆に丁寧に並べていました。

